

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 180-8580  
 住 所 東京都武蔵野市西久保1-25-8  
 氏 名 株式会社 すかいらーく  
 代表取締役社長 印  
 谷 真  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 すかいらーく		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市宮前区菅生5丁目2番18号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	M	宿泊業, 飲食サービス業
	中分類	76	飲食業
主たる事業 の内容	レストランチェーンの運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		4,420 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	店舗サポートグループ 修繕・メンテナンス チーム
		所在地	東京都武蔵野市西久保1-25-8
		電話番号	0422-37-5226
		FAX番号	0120-111-572
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 8,288 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,275	(実) 8,254 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,242	(実) 7,780 t-CO <sub>2</sub> (調) 7,768	(実) 8,307 t-CO <sub>2</sub> (調) 8,295	(実) 8,039 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 0.4 % (調) 0.4	(実) 6.1 % (調) 6.1	(実) -0.2 % (調) -0.2	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	各店にて、LED導入や高効率空調機の導入(故障対応及び計画的入替)を実施した結果温室ガスの排出量は基準年度比0.4%削減できた。
第2年度	各店にて、空調フィルターの点検清掃、バックヤード・事務室・控室等の不在時の空調停止、全店クールビズ、室温調整などを実施。また、高効率空調機器の計画的入れ替え導入を行った。結果、温室ガス排出量は基準年度比で6.1%削減となった。
第3年度	全社的に『ブランドメンテナンス』という活動を展開。毎月点検清掃項目を決め、空調、冷蔵庫、冷凍庫、製氷器、洗浄器等のメンテナンスを行った。空調、調理機器等の運用についてもルールを決め、さらなる省エネに取り組んだが、売上高が上昇し、結果、温室ガス排出量は基準年度比0.2%の増となった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該 当者等)	計 画	<p>①照明設備の運用管理 照明設備（外部看板照明含む）の更新時（電球交換）には、高効率照明ランプへ順次導入し、期間内で6割以上の更新を目指す。 店舗控室・後方照明に関しても、未使用時の消灯のみならず、LED照明を順次導入して行く。</p> <p>②給排気ファンの運用管理 厨房給排気ファンにインバーターを設置し、給気と排気ファンの消費電力の削減と共に外気導入量の適切化を図ることで、エアコンに掛かる負荷の軽減も同時に得る事とする。</p>
	第1年度	<p>①LED照明の導入(客席及び軒天部) 全店を対象として照明設備は高効率照明への変更となった。未使用時の照明の消灯は店舗への認知が進む。</p> <p>②給排気ファンの運用管理 計画入れ替えが進むも当初の予定よりも遅れての導入となりエネルギーの削減予定には届かない結果となる。</p>
	第2年度	<p>①LED照明の導入(客席及び軒天部) 全店を対象として照明設備は高効率照明への変更となった。未使用時の照明の消灯は全社的な取り組みである「もったいない運動」の一環として周知徹底が進む。</p> <p>②給排気ファンの運用管理 計画入れ替えが進むも当初の予定よりも遅れての導入。約3割の店舗に導入した。</p>
	第3年度	<p>①LED照明の導入(客席及び軒天部) 全店を対象として照明設備は高効率照明への変更となった。未使用時の照明の消灯は全社的にルールの確認、徹底を行った。</p> <p>②給排気ファンの運用管理 計画入れ替えは予算の関係上、27年度は更新せず。28年度は再開見込み。</p>
自動車等 (第3号該 当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	8,808	t-CO <sub>2</sub>
(調)	8,698	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	63

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--